



令和7年度 静岡文化芸術大学公開講座

定員
100名

無料

お茶を知る

～お茶に学ぶ 文化とデザイン～

● 会場

静岡文化芸術大学
南 281 中講義室

第一回

9/13 (土) 10:00 ~ 12:00

「浜松の茶業について」

河合伸哉（浜松市産業部農業振興課 主幹）

「茶関連企業の存続とイノベーション」

曾根秀一（静岡文化芸術大学 文化政策学科 教授）

第二回

10/4 (土) 10:00 ~ 12:00

「薬としての茶の文化」

宮崎千穂（静岡文化芸術大学 国際文化学科 准教授）

「『感覚的領分』と茶室的空間」

植田道則（静岡文化芸術大学 デザイン学科 教授）

第二回

9/20 (土) 10:00 ~ 12:00

「静岡茶のグローバルヒストリー」

四方田雅史（静岡文化芸術大学 文化政策学科 教授）

「道具から見る茶文化の伝播」

高島知佐子（静岡文化芸術大学 芸術文化学科 教授）

静岡県では、本年度「世界お茶まつり 2025」が開催されていますが、これにあわせてお茶に関する連続講座を開催します。静岡県民にとってはとても身近なお茶ですが、あらためて、歴史・文化・デザインといった本学ならではの視点で話題を提供します。お茶を世界とのつながりの中で考え、また茶室の空間や茶道具にも焦点を当て、お茶をめぐる人々の営みと戦略にも学びを深めていきます。この講座を通じて、お茶の魅力を再発見してみませんか。

● 講師プロフィール

河合 伸哉

浜松市産業部農業振興課生産環境グループ長。農業者を対象とした補助金交付や、市内産の農作物のPR・販売促進などの業務を行っている。

四方田雅史

静岡文化芸術大学文化政策学部文化政策学科教授。専門は、社会経済史、産業史。日本やアジアに存在する産業やその産地が現在の状況に至った過程や原因について、戦前まで遡って研究している。

宮崎 千穂

静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科准教授。専門は歴史学、文化観光学。主にユーラシアにおける医・薬・食の歴史を研究している。

曽根秀一

静岡文化芸術大学文化政策学部文化政策学科教授。専門は経営学、経営戦略論、経営組織論。経営戦略・組織論、経年的視点から、特に老舗企業や地場産業の存続と衰退について、国際比較も含め研究している。

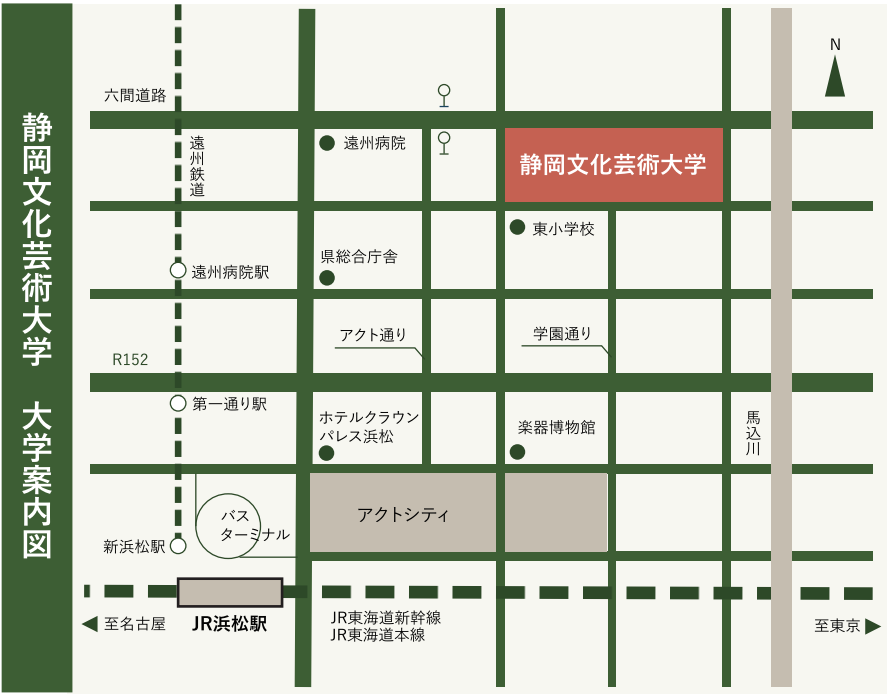
高島知佐子

静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科教授。専門はアートマネジメント、経営学。文化芸術団体はどうか、活動を継続、発展されているのか、活動を担う人々、それを支える組織や産業に着目し研究をしている。

植田道則

静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科教授。専門は建築とインテリアの空間デザイン。日本の美意識が育んできた内外空間デザインを、インタラクティブな発想を伴いながら探求している。

● アクセス



JR 浜松駅より徒歩 15 分 / 遠州鉄道 遠州病院駅より徒歩 8 分 /
遠鉄バス 浜松駅北口バスターミナル 10 番のりば バス停「文化芸術大学」下車

※本学には駐車場がありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

